

同窓会報

発行所
倉敷市有城787
住所 岡山学院大学・
発行者 岡山短期大学同窓会
岡山短期大学同窓会
TEL: 086-428-2651
発行日 令和2年5月

巻頭言

新型コロナウイルスと Society 5.0

岡山学院大学学長
岡山短期大学学長
岡山学院大学・岡山短期大学同窓会名誉会長

原田博史

同窓生の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校の発展のためにご支援ご協力を賜り誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

顧みますと平成31年4月は新天皇陛下の即位を5月に控えた祝賀のムードで始まりました。これによって4月から5月の一か月間は年度の表記も平成31(2019)年度と和暦と西暦を併用し5月から新元号「令和」を用いて令和元年と表記するようになりました。また、大学運営では岡山短期大学が(一財)短期大学基準協会の3回目の認証評価を受審する年でもありました。結果は本年3月17日付で適格認定を受けました。

さて昨年12月8日に世界を一変する事態となる新型コロナウイルスの感染が中国の武漢において発表されてから我が国においては約一か月強を経た令和2年1月16日に最初の感染者が発生しました。この新型コロナウイルスについてWHOは中国の感染拡大が進行しているにもかかわらずこのウイルスは人から人への感染リスクは少ないと1月19日に発表しましたが国内では既に中国からの観光客から感染した事例が多発するようになりテレビ報道のメインテーマになっていました。またWHOは2月24日にパンデミックではないと声明発表しておきながら4日後にはパンデミックであると発表したり、WHOの発表は1月から3か月にかけて現実離れたものでした。いまでは日本全国に緊急非常事態宣言が発出され、国を挙げて不要不急の外出を避ける、人と人の接触を80%削減するという行動変容を目的に会社ではテレワークや飲食店の休業要請、もちろん教育機関においても休校措置の要請など歴史上初の出来事が起きています。本学も3月19日の卒業式は中止しましたが、3密を避けての令和2年度準備のオリエンテーション、4月1日の入学式、在学生の4月2日から授業開始、新入生のオリエンテーション、4月8日の新入生授業開始と令和2年度を開始した翌々日の4月10日から5月6日までを休校にして授業はウェブサイトによる遠隔授業を進めているところであります。

人と人の接触を80%削減するという行動変容を我が国の生活環境のパラダイムシフトとして捉えたと新型コロナウイルス対策はSociety 5.0時代のバーチャルリアリティを実現することになるのかもしれませんが。しかもその主役はAIではなく人間自身によってなされるものでありAIはその道具となるのでしょうか。

私のライフワークの中に(一財)大学・短期大学基準協会(本年3月末までは短期大学基準協会)の認証評価委員会の委員長の仕事があります。認証評価は学校教育法に規定されているもので文部科学省が所管する高等教育機関は7年のうちに1回は文部科学大臣が認証した認証評価機関の評価を受けなければならないことになっております。この評価のために毎月のように東京で会議が開催されるのですが、これも3月からは中止になり、その後は書面会議で開催するようになってきております。まさに今考えられる技術を駆使して人と人の接触を80%削減した生活を実行しようとしております。

本年から岡山学院大学及び岡山短期大学の学則の第1条の人材養成の目的に「Society 5.0で実現する地域社会の指導者たるの人材」という文言を加えました。「超スマート社会」とも言われるSociety 5.0は、AI、ビッグデータ、IoT、ロボティクス等の先端技術が産業や社会生活に取り入れられ、社会の在り方そのものが「非連続的」と言えるほど劇的に変わるとしており、政府の第5期科学技術基本計画(平成28年1月22日閣議決定)で提唱された社会の姿です。特に岡山短期大学の保育者教育は本年から卒業後の目標としてSociety 5.0時代の保育者となるSociety 5.0保育者養成コースを設けました。Society 5.0保育者養成コースは、基礎教育科目の「ソサエティ5.0理解」「情報処理基礎」「情報処理演習」「ICTリテラシー(A)」及び「ICTリテラシー(B)」の学習を通してSociety 5.0時代の保育者に必要なICT技術を修得すると共に、「卒業予備研究(B)」「卒業研究(A)」「卒業研究(B)」で「模擬保育室」「保育相談実践室」のSociety 5.0化を研究しSociety 5.0時代の保育者になることを目指します。

また、卒業後の目標として、公務員となる公務員養成コースも設けました。このコースは基礎教育科目の「公務員講座(A)」「公務員講座(B)」で公務員試験出題科目を集中的に学習すると共に、「卒業予備研究(B)」「卒業研究(A)」を通して集中的に公務員試験受験のための社会人基礎力を獲得し公務員試験に合格することを目指します。

新型コロナウイルスの感染拡大が世界中に発生している中、我が国における終息は予測がつきませんが、Society 5.0社会は急速に進行しているため本学の教育改革も早急に推進しなければと考えております。

今後とも本学の教育に際してご理解を賜りますようお願いを申し上げます。

同窓会総会懇親会中止のお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い第66回同窓会総会懇親会の開催中止を決定いたしましたことをご知らせいたします。

なお、令和3年度の同窓会総会及び懇親会は、今年度の中止を受けて、卒業年に「2」と「3」の付く年（昭和32年、33年、42年、43年、52年、53年、62年、63年、平成2年、3年、12年、13年、22年、23年、令和2年、3年卒）の方を準備の当番年とさせていただくこと宜しくお願いいたします。多くご出席いただきご協力をお願い申し上げます。

第66回同窓会総会準備会

令和元年度 同窓会役員

敬称略

名誉会長	岡山学院大学学長 岡山短期大学学長		原 田 博 史
会 長	昭 和 4 2 年	保	中 塚 志 津 子
副 会 長	昭 和 4 1 年	保	森 上 敏 子
	昭 和 5 8 年	幼	平 松 弘 子
常務理事	平 成 2 5 年	食	北 條 由 貴
	平 成 2 9 年	食	吉 田 楓
理 事	昭 和 5 8 年	幼	吉 井 理 恵
	昭 和 6 2 年	幼	高 岸 益 子
	平 成 7 年	幼	中 務 衣 都 子
	平 成 1 4 年	食	秋 田 文 恵
	平 成 1 8 年	食	山 口 泰 明
	平 成 2 0 年	食	平 野 聡
監 事	平 成 2 4 年	食	岡 部 麻 耶
	昭 和 4 4 年	食	井 頭 久 子
	昭 和 5 2 年	幼	西 早 苗
	平 成 1 5 年	幼	木 村 太 郎

本部便り

令和元年度 第1回理事会（令和元年5月15日）

- 平成30年度事業報告並びに収支決算報告が行われた。
- 平成30年度収支決算について「適正な処理がなされていた」と監査報告があった。
- 令和元年度事業計画案及び予算について事務局より案が出され、協議の上決定された。
- 平成30年度同窓会栄養士の会計報告がなされた。
- 令和元年度同窓会栄養士の予算について同窓会栄養士会事務局より案が出され、協議の上決定された。

令和元年度 第2回理事会（令和元年7月3日）

- 第65回同窓会総会・懇親会の役割が協議決定した。
- 総会次第及び総会の準備を行った。

令和元年度 第3回理事会（令和元年12月2日）

- 第65回同窓会総会・懇親会の報告及び決算について報告があり、その後次回に向けての反省が行われた。
- 第66回同窓会総会・懇親会の開催場所及び日程について協議され、令和2年7月5日（日）に倉敷ロイヤルアートホテルにて開催することが決定した。
- ホームカミングデー（大学主催）が令和元年10月19日（土）に行われ、同窓会も平成26年から28年3月卒の同窓会員に案内状の発送協力をしたと報告があった。

第65回同窓会総会記録

令和元年7月21日（日）11時、原田博史学長をはじめ、他8名の先生方のご出席をいただき、倉敷ロイヤルアートホテル（フィレンツェ）において、総会が開催された。

【第65回 同窓会総会】

- 開 会 司会：平松弘子副会長
- 会 長 挨拶 中塚志津子同窓会長
- 名誉会長挨拶 原田博史学長
- 来賓紹介 平松弘子副会長より来賓紹介
- 来賓挨拶 久保豊子先生
- 物故者追悼（黙祷）
- 役員紹介 役員自己紹介
- 議長選出 廣瀬純也氏（平成31年食）
- 議 事

(1)平成30年度事業報告並びに決算報告

- 北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
- ・理事会…年3回
(平成30年5月、7月、12月)の開催
- ・準備会…平成30年6月、平成31年2月開催
- ・第64回同窓会総会・懇親会の開催
(平成30年7月22日(日) 倉敷国際ホテル桜花の間)
- ・同期会への補助
平成20年3月卒（食物栄養学科）
- ・同窓会報第40号発刊（平成30年5月）
- ・ITリテラシー教育のための拠金（継続）
- ・ホームカミングデー（大学主催）に協力
- ・第5回同窓会栄養士会延期

(2)監査報告

- 木村太郎監事
「厳正なる監査を行ったところ適正なる処理ができていた」と報告された。

(3)令和元年度事業計画案並びに予算案

- 北條由貴常務理事、吉田楓常務理事
- ・理事会…年3回（令和元年5月、7月開催、12月開催予定）
- ・準備会…令和元年6月開催（第65回同窓会総会第2回準備会）
令和2年2月開催予定（第66回同窓会総会第1回準備会）



- ・ 第65回同窓会総会・懇親会の開催
(令和元年7月21日(日))
- ・ 同期会への補助 昭和41年3月卒(保育科)
- ・ 同窓会報第41号発刊(令和元年5月)
- ・ ITリテラシー教育のための拠金(継続)
- ・ ホームカミングデー(大学主催)に協力

10. 同窓会栄養士会について 岡部麻耶理事
(同窓会栄養士会運営委員)

- ・ 平成30年度会計報告がなされた。

11. ホームカミングデーについて 近藤彩香企画担当

12. 閉 会 森上敏子副会長

【同窓会懇親会】

令和元年度の同窓会総会及び懇親会は卒業年に「1」がつく年の同窓会総会準備会の運営で開催されました。9名の先生方と55名の卒業生が一同に集い、平成31年3月に岡山短期大学幼児教育学科を卒業した是枝峻太さん、高上優月さん、寺下朋佳さんの司会進行で懇親会が始まりました。

廣瀬純也(H31.3・食)さんの開会挨拶後、竹原良記先生に乾杯をしていただき、皆様にぎやかに食事が始まりました。懐かしい同級生や来賓の先生方としばらく会話を楽しみました。余興は原田博史学長先生のカラオケ〈テイクミーホームカントリーロード〉から始まりました。続いて浦上博文先生と北條由貴(H25.3・食)さんのカラオケで石原裕次郎・牧村旬子の〈銀座の恋の物語〉が歌われました。続いてみちる保育園有志の皆さんから手品・手遊びをしていただいた後に、森上敏子(S31.3・保)さんから銭太鼓〈燃えろ岡山〉を披露していただき、珍しい銭太鼓に会場は大いに盛り上がりました。その後、橋谷多香子(S41.3・保)さんのプサルタ伴奏で、有志の皆さんから合唱〈ふるさと〉を披露していただき、平成31年幼児教育学科卒業の皆さんには、〈パブリカ〉のダンスを披露していただきました。

最後に卒業年に「1」がつく当番年の参加者全員が舞台上がり、毎年恒例になっている〈旧校歌〉〈旧学生歌〉〈大学校歌〉〈短大校歌〉を大合唱しました。そして山崎美美香(H31.3・食)さんの閉会挨拶により、第65回同窓会総会及び懇親会は無事終了いたしました。

第65回同窓会総会及び懇親会も倉敷ロイヤルアート

ホテル(フィレンツェ)にてバイキング形式の自由席で開催いたしました。おいしい料理を囲み、同級生や、恩師の先生方と自由に懐かしい思い出話に花をさかせられていました。今回初めて参加したという同窓生の方もいらっしゃいましたがとても楽しんでいらっしゃいました。まだ同窓会総会・懇親会に参加されたことがない皆様、久しく参加されていない皆様、毎回楽しく会を開いておりますのでぜひ参加してください。お待ちしております。

ご出席いただきました先生方は、原田博史学長、久保豊子先生、竹原良記教授、宮崎正博教授、狩山玲子教授、浦上博文教授、中原真由美講師、佐藤幸枝講師、原田俊孝総務課長でした。ご参加ありがとうございます。次回もまたご参加いただき、同窓生と楽しい一時を過ごしていただければと思います。



第65回懇親会 会席



懇親会余興(S41年保育科卒 森上敏子さん)



懇親会余興 (H31 年幼児教育学科卒)



童謡 ふるさとの合唱 (伴奏・S41 保育科卒 橋谷多香子さん)



旧校歌・旧学生歌・大学校歌・短大学歌 合唱

昭和 41 年保育科卒 同期会

41年保育科卒業の私達は卒業して50年余になります。半世紀余もお会いできていない友達が、広島や香川から又岡山山陽町そして倉敷となつかしい11名の友が集まり出席してくれたことにまず「感謝」申し上げます。三日前よりテレビ・ラジオ放送で九州地方から大雨や台風の前報が流れていて中国地方にも当日どうだろうか遠方から出席してくれる方の心配もしていましたが、当日はおかげさまで天候もよく本当にうれしく安心しました。

集まってくれた方々は皆んな笑顔で参加してくれてそれぞれ楽しい時間を過ごすことができた様でした同期会は総会の時と隣に違った友とテーブルに座ってもらったりして今迄以上に盛り上りを又にぎやかに楽しく毎

年でもしてもらいたいと言う声、習い事や趣味、日頃の仕事や体のこと近況についても報告し合い話はずきません。

又卒業アルバムを見て、他の友のことを皆元気にしているか尋ねたり、大学当時の恩師の先生話を教えてもらったり安心して昔の大学生に戻った様に楽しく話が交換され充実した会となった様です。

私達の保育科は、2年間の幼稚園教諭と保育士の勉強や実習でしたが、その後の人生で今でも又社会や家庭でも役立つことがあったり大学で学んだ事は人生を豊かにすることができた様に思っています。

又今度元気で活躍されます様に願っています今回出席できなかった方同期生の皆さん次回は集まりましょう。

準備会の役員の方々応援してくれて厚くお礼申し上げます。そして後輩の金光さん山本さん有難うございました。

昭和41年 保育科卒 森上 敏子 (旧姓：岡野)



人間生活学部 食物栄養学科 卒業研究発表会

令和元年7月27日(土)、食物栄養学科「卒業研究Ⅰ」の発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

「フコキサンチンのはたらき」	桑山由香理
「コエンザイム Q10 (CoQ10) のはたらき」	咲村美菜
「クレアチンのはたらき」	多木蒼
「L-カルニチンのはたらき」	永田奈津子
「テアニンのはたらき」	宮本茉央
「イチョウ葉エキス入りガム咀嚼が記憶に及ぼす効果について」	山田愛恵

(研究指導：宮崎正博教授)

「婦人科がんの罹患に係る遺伝子多型」	阿部玲奈
「遺伝子多型と食道がんの関係」	玉城祥享

(研究指導：清水憲二教授)

「腸活について－機能性表示食品の利用」	今井愛莉
「腸活について－特定保健用食品の利用」	井上貞光
「腸活について－食生活の改善」	足達花菜

(研究指導：狩山玲子教授)

「さぬきうどんのおいしさに関する研究」	
「～さぬきうどんのテクスチャーの「見える化」について～」	矢野かれん

「～でんぷん添加量の異なる4種類のうどんについて～」	佐々木来果
----------------------------	-------

「～市販ゆでうどんについて～」	林田唯
(研究指導：次田隆志教授・津村哲司准教授)	

- 「岡山の地産地消 ～倉敷市真備町のたけのこ～」 金尾舞
- 「岡山の地産地消 ～連島れんこん～」 川田凌
- 「岡山の地産地消 ～連島ごぼう～」 田中慎士
- 「岡山の地産地消 ～桃太郎トマト～」 増原風花
- 「岡山の地産地消 ～倉敷市玉島のサツマイモ～」 向井康貴
- 「岡山の地産地消 ～倉敷の白桃～」 安原美奈
(研究指導：中原真由美講師)
- 「水素水について」 浅川文歩
- 「アルツハイマー病を予防する食事法」 上原舞波美
- 「花粉症と予防」 國本愛視
- 「運動とアンチエイジング」 山本大智
(研究指導：竹原良記教授)
- 「ライフスタイルと自己効力感の関係性の検討」 池田奈緒美
- 「自己効力感やストレスと料理等の関係性の検討」 岡田美玖
(研究指導：村上祥子准教授)
- 「ロコモティブシンドロームにおける若年時の運動習慣の獲得に関する検討」 山崎萌
- 「運動習慣の実施による身体組成の変化に関する検討」 岡田和也
- 「筋力トレーニングによるマラソンランナーにあった体づくりに関する検討」 浅木明日香
- 「レジスタンストレーニングとHIITトレーニングによる体脂肪の変化に関する検討」 高橋正純
- 「地域在住高齢者における舌圧と筋肉量の関連性についての検討」 大谷尚史
(研究指導：平野聡助教)
- 「高齢社会における嚥下の重要性について」 大坪由依
- 「簡易粘度評価方法を用いたとろみの付き方の比較」 藤原美里
- 「嚥下障害者の低栄養を防ぐための工夫」 稲山美佳
(研究指導：佐藤幸枝講師)



幼児教育学科 子どもとっしょに運動会

令和元年5月24日(金)、本学体育館において「子どもとっしょに運動会 忍者の修行に行こう!」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

準備運動(動物のまねっこ かけっこ でんでんむし川跳びなど) クモの巣ぬけ 抜け穴くぐり 抜け穴掘り 手裏剣 壁抜けの術 屋根ばしり 抜き足・差し足 床下(屋根裏)を行け など



幼児教育学科 子どもとっしょに発表会

令和元年12月6日(金)、本学体育館において「子どもとっしょに発表会」が開催された。倉敷市内の幼稚園、保育所、施設などから多数の子どもたちを招き、賑やかな会となった。プログラムは以下の通りである。

〔プログラム〕

○発表

- 《吹奏楽演奏》 吹奏楽ゼミ 研究指導：井上充隆講師
1.夢をかなえてドラえもん 2.パプリカ 3.ジングルベル
- 《オペレッタ》 2年生作品 研究指導：藤井真理教授
『オオカミと8ひきの小ヤギ』
- 《競技エアロビクス》
Follow The Leader 多和麗
- 《コーラス》 幼児と音楽ゼミ 研究指導：大羽敬子講師
「どうぶつに あいにいこう!」
1.さんぽ 2.もりのくまさん 3.にんげんっていいなほか
- 《バトントワリング》 研究指導：藤井真理教授
1.魔法にかけられて 2.ス・マ・イ・ル 市場みくう
- 《オペレッタ》 2年生作品 研究指導：藤井真理教授
『おおきなかぶ』
- 《幼児ダンス》 表現ゼミ 研究指導：藤井真理教授
- 《オペレッタ》 2年生作品 研究指導：藤井真理教授
『白雪姫』

○遊びの広場

《手作り玩具コーナー》 研究指導：関野智子講師

「見て楽しい不思議ワールド」「ようこそ わくわく王国」
「ぼうでなにつくる?」「音の出るおもちゃで遊ぼう!」

《おはなしのコーナー》 研究指導：浦上博文教授

絵本の読み聞かせ

「コッケモーモー!」「あらまっ!」

紙芝居

「にらめっこしましょ あっぷっぷ!」「どっちだ?」

エプロンシアター

「おおきなかぶ」「はらぺこかいじゅう」「3びきのこぶた」「ジャックと豆の木」



幼児教育学科 卒業研究発表会

令和2年1月10日（金）、本学情報処理教育センター3階D 302教室において卒業研究発表会が行われた。内容は以下の通りである。

〔発表題目および発表者〕

〔言葉〕（研究指導：浦上博文教授）

「幼児の言葉を育てる保育者をめざして」

常藤祈恵 古田楓 吉村祐美

〔教育学〕（研究指導：都田修兵講師）

「広報としてのPRのあり方に関する考察～Instagramを事例として～」

門脇文 佐藤心 橋本慎一朗 山本真裕 吉野朱莉

〔図画工作〕（研究指導：関野智子講師）

「クリスマスツリーを飾ろう」

中村美来 藤川晏玖 森田紗香 守分愛莉

〔新聞紙を活用して〕

井上葉月 岡本葵 酒井楓 竹内理子

〔音の鳴る玩具〕

赤澤悠那 大塚萌 北殿奏江 桑本春花 村上文音

〔しかけ絵本〕

安藤有美 重藤麻菜

〔表現〕（研究指導：藤井真理教授）

「表現ゼミの活動を通して『できるようになったこと』と『今後の課題』」

伊藤美月 大林綾音 加登さおり 菊地祐希

榎原美緒 中原美音 村崎莉央 吉田愛理

〔声楽〕（研究指導：大羽敬子講師）

「『子どもといっしょに発表会』 幼児と音楽ゼミ発表の取り組み～子どもたちと楽しく歌うために～」

奥田幸恵 尾前萌美 仙波玲奈 田中亚実 田中玲奈

西村茉純 目黒友悠 山崎陽香 坂本未来

〔吹奏楽〕（研究指導：井上充隆講師）

「生きた器楽演奏を体感し幼児の感性や表現力を養う研究」

中野友莉 藤田佳乃 藤原ももか 俣野瑞歩

山本菜摘 吉田遥香

〔社会〕（研究指導：尾崎聡教授）

「『八岐大蛇（ヤマタノオロチ）』と『因幡の白兔（イナバノシロウサギ）』をペープサートで実演する

—『古事記』神話の児童文化財化の試み—」

藤井茅優 白山直輝 田辺希帆 山岡朋樹 山城里奈

〔児童心理学〕（研究指導：大賀恵子准教授）

「音楽が及ぼす乳幼児の情動の変化～施設別にみた相違点～」

菅杏実 幸田志穂 長谷川沙紀 峯松みなみ

〔英語〕（研究指導：濱田佐保子教授）

「保育現場での英語活動—2組の絵カードを使って」

生田純基 伊藤空 橋本季映 間地優嵐 山崎亜希子



IT リテラシー教育のための拠金より 図書館へノートパソコンを寄贈

平成19年に行われた第1回目の贈呈に引き続き、令和元年9月に第2回贈呈がおこなわれた。機種はNEC 12.5型ノートパソコン LAVIE Direct NM (OS: Windows 10 Pro, CPU: Intel Core i5-8200Y プロセッサー、メモリ: 8GB、SSD: 256 搭載) 無線LANを通じてインターネットに接続されている。学生の学習成果の向上を願っ

平成31年3月卒業生就職状況

令和元年5月現在

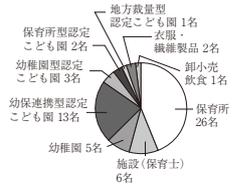
【岡山学院大学】 人間生活学部 食物栄養学科

卒業生数 26名
 就職希望者数 24名
 専門職(栄養士) 16名
 一般職 8名



【岡山短期大学】 幼児教育学科

卒業生数 60名
 就職希望者数 59名
 保育所 26名
 施設(保育士) 6名
 幼稚園 5名
 幼保連携型認定こども園 13名
 幼稚園型認定こども園 3名
 保育所型認定こども園 2名
 地方裁量型認定こども園 1名
 衣服・繊維製品 2名
 卸小売飲食 1名



て寄贈されたこのパソコンは、日々のレポート作成、就職活動などに大いに活用されている。

令和3年には、日本人の食事摂取基準(2020年版)に対応した栄養計算ソフトの導入も決定しており、学生のさらなる学習成果の獲得に資するものと期待される。

新任者紹介

【岡山学院大学】

人間生活学部
食物栄養学部 講師 内田雅子 栄養教育論

【岡山短期大学】

幼児教育学科 助教 吉田升
「幼児と健康」の指導法

【同窓会 50年の歩み】 記念誌のご案内

なつかしい学生時代の様子や校舎の写真が詰まった同窓会50周年記念誌(平成15年10月発行)はいかがですか?

- 販売期間: 在庫の限り
- 価格: 800円(記念誌¥500 + 送料¥300)
- 口座番号: 郵便振替(郵便局にてお振込みください)
口座番号: 01220-5-4076
- 加入者名: 岡山学院大学岡山短期大学同窓会
- 通信欄: 「『同窓会50年の歩み』希望、ご住所、お名前、電話番号」をご記入ください。(領収書は大切に保管ください。)

【お問い合わせ先】

岡山学院大学・岡山短期大学同窓会事務局
〒710-8511 岡山県倉敷市有城787
(TEL: (086)428-2651)

岡山学院大学・岡山短期大学 後援会事業報告

1. 概要

- ・岡山学院大学岡山短期大学後援会
平成30年度理事
(岡山学院大学 10名 岡山短期大学 8名)
- ・設置する学校・学部・学科
岡山学院大学 人間生活学部 食物栄養学科
岡山短期大学 幼児教育学科

・当該学校・学部・学科の入学定員、学生数の状況
(平成30年5月1日現在)

学校名	学部・学科等名	開設年度	入学定員	収容定員	現員	備考
岡山学院大学	人間生活学部 食物栄養学科	年度 H14	人 40	人 160	人 107	H22 定員変更 100→40
	計		40	160	107	
岡山短期大学	幼児教育学科	年度 S33	人 100	人 200	人 130	H22 定員変更 150→100
	計		100	200	130	

教職員数

	法人	岡山学院大学	岡山短期大学	合計
専任教員	0	16	14	30
専任事務職員	1	8	9	18

兼任及び非常勤教員数

	岡山学院大学	岡山短期大学
兼任教員	10	4
非常勤教員	9	12

2. 事業の概要

事業	概要・目的
校舎内清掃代の助成	各棟清掃代金の助成 3,090,029円
無料通学バス運行費用の助成	倉敷駅前(7番乗場)～本学A棟前間の無料直行バス運行(登校時2便・下校時3便) 平成30年度 運行日数 197日、延べ 24,364人乗車 無料通学バス運行費用の助成 9,574,200円
地域貢献活動に対する助成	・第12回地域訪問栄養長寿教室 学生移動用貸切バス代助成 54,000円 栄養診断測定機器運搬用 レンタカー代助成 13,824円 (平成30年10月13日(土)) ・平成30年度 児島地区食育栄養まつり参加 学生移動用貸切バス代助成 52,920円 (平成30年11月18日(日))

岡山学院大学・岡山短期大学
ITリテラシー教育のための拠金者一覧

(平成31年1月～令和元年12月の拠金者)

卒業年・学科	名前	(旧姓)
S30	家政 柴田崇子	(樋口)
S31	家政 坂本登志子	(藤井)
S36	保育 米谷美和子	(正田)
S37	保育 堤ミチ子	(永谷)
S39	保育 岩田典子	(藤井)
S40	家政 佐藤光江	(小畑)
S40	保育 弓場則子	(岡野)
S41	保育 坂本桂子	(行上)
S41	保育 橋谷多香子	(十河孝子)
S41	保育 山下敦子	(杉本)
S43	家政 三好千枝子	(花田)
S44	家政 湯畑富貴恵	(弓井)
S47	幼教 白神富子	(大塚)
S51	家政 若原節子	(若原)
S52	幼教 中土井悦子	(佐藤)
S52	幼教 西早苗	(井上)
S56	食物 白井昭子	(榊原)
S58	幼教 平松弘子	(三浦)
S59	幼教 永井敦子	(藤原)
S59	幼教 藤原恵子	—
S62	幼教 高岸益子	(野瀬田)
S63	食物 植敷由香	(横山)
H11	幼教 藤井慶子	—
H11	幼教 山本奈奈	(山岡)
H23	食物 川井智絵	—
H27	幼教 田邊拓麻	—

拠金内訳	
30,000円×2名	60,000円
10,000円×4名	40,000円
5,000円×18名	90,000円
3,000円×2名	6,000円
合計	196,000円

岡山学院大学・岡山短期大学
ITリテラシー教育のための拠金の御礼
および拠金継続について

母校のITリテラシー教育の益々の発展を支援するため、一千万円を目標に拠金を継続してまいりました。下記の通り、多数の方々のご協力を得ましたこと、発起人一同心より御礼申し上げます。

しかし、下記のように未だ目標額には遠くおよびません。拠金は、継続して積み立てることになっておりますので、今後も皆様の温かいご支援をいただき目標額を達成するべく、拠金の受付をいたしますので、何とぞご協

力をよろしくお願い申し上げます。

なお、平成19年度に、第1回目の贈呈(図書館ノートPC12台<300万円>)令和元年度に、2回目の贈呈(図書館ノートPC5台<669,600円>)を行っています。

拠金総額

年度	拠金額	振込手数料	累計
平成14・15年度	1,927,624円	16,220円	1,911,404円
平成16年度	590,000円	4,420円	2,496,984円
平成17年度	363,000円	4,430円	2,855,554円
平成18年度	280,000円	3,930円	3,131,624円
平成19年度	335,000円	4,920円	3,461,704円
平成20年度	287,000円	5,360円	3,743,344円
平成21年度	202,000円	0円	3,945,344円
平成22年度	215,000円	0円	4,160,344円
平成23年度	210,000円	0円	4,370,344円
平成24年度	1,190,000円	0円	5,560,344円
平成25年度	133,000円	0円	5,693,344円
平成26年度	138,000円	0円	5,831,344円
平成27年度	113,000円	0円	5,944,344円
平成28年度	156,000円	0円	6,100,344円
平成29年度	219,000円	0円	6,319,344円
平成30年度	151,000円	0円	6,470,344円
令和元年12月末現在	196,000円	0円	6,666,344円
合計			6,666,344円

※平成21年度より拠金にかかる振込手数料は、決算書の支出科目に手数料支出を設けそちらで管理することとなりました。

拠金発起人一同

平成30年度 収支決算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

収入の部		支出の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
繰越金	9,809,903	会議費	331,892
当年度新入会員会費 受入収入	2,245,000	交通費	71,552
翌年度新入会員会費	1,720,000	印刷費	782,487
翌々年度新入会員会費	20,000	通信費	963,554
総会費	257,000	慶弔費	10,000
50年の歩み冊子収入	2,100	消耗品費	33,737
拠金収入	151,000	手数料支出	6,098
雑収入	2,041	同窓会栄養士会 助成費	0
合計	14,207,044	管理栄養士 受験支援	49,810
		予備費	
中国銀行スーパー定期	6,000,000	翌年度新入会員会費 支払支出	1,720,000
笠岡信用金庫定期預金	5,000,000	翌々年度新入会員会費 支払支出	20,000
		次年度繰越金	10,217,914
		合計	14,207,044